



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第11号
(9月17日～10月5日)

令和4年9月16日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部



樹上選果マン

トキの熟度は平年並！
食味重視で適期収穫を!!
台風に備え、風害防止対策を万全に!!!

I 概要

9月11日時点の果実肥大は、各品種とも平年並から平年を上回っている。

トキの熟度は、平年並に進んでいることから、収穫始めは黒石で9月30日頃から見込まれる。熟期が揃わないので、「収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して3回程度に分けてすぐりもぎを行う。

着色手入れや除袋の際に、今一度着果量を点検し、肥大の劣る果実や形の悪い果実、病虫害被害果、さび果等の摘み取りを徹底する。

台風や強風に備え、防風網の点検、補強などの風害防止対策をしっかりと行う。

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

9月11日時点の果実肥大は、各品種とも平年並から平年を上回っている。

○果実肥大 (9月11日現在、横径cm、平年比%)

地域	年	つがる	ジョナゴールド	ふじ
黒石 (りんご研究所)	本年	9.2	-	8.4
	平年	8.9	-	8.0
	前年	9.1	-	8.2
	平年比	103	-	105
青森市浪岡北中野 (東青地域県民局)	本年	-	-	8.3
	平年	-	-	7.7
	前年	-	-	7.9
	平年比	-	-	108
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本年	-	8.7	7.9
	平年	-	8.5	8.0
	前年	-	8.3	7.7
	平年比	-	102	99
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本年	-	-	8.2
	平年	-	-	8.0
	前年	-	-	8.0
	平年比	-	-	103
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本年	9.7	8.6	8.0
	平年	9.0	8.4	7.8
	前年	9.7	8.3	7.8
	平年比	108	102	103

注1 各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

2 青森市、弘前市、板柳町のつがるは調査時点で収穫済み

(2) トキの果実熟度

9月13日現在の熟度は、黒石では平年と比較して、ヨード反応及び表面色指数は同程度、酸度はやや低く、硬度及び糖度は低い。総合的に見て、熟度は平年並に進んでいると見込まれる。

○トキの熟度の進み (調査月日：9月13日)

地域	年	果重 (g)	表面色 指数	硬度 (ポイント)	糖度 (brix%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応
黒石 (りんご研究所)	本年	273	1.4	16.8	12.9	0.271	3.2
	平年	263	1.3	17.9	13.7	0.275	3.1
	前年	261	1.3	17.5	13.9	0.279	3.2

注1 平年：2013年～2021年の9か年平均

2 表面色指数：「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」指数1～6

3 ヨード反応：ヨードデンプン反応指数0～5
(小さい数値ほどでんぷんが少ない)

(3) 作業等の進み（9月14日現在）

つがるの収穫はほぼ終了した。

早生ふじ等中生種の葉摘みが行われている。

2 作業の重点

(1) 中生種の収穫

トキの熟度は平年並に進んでいることから、収穫始めは黒石で9月30日頃からと見込まれる。トキの熟度の進みから見て、早生ふじの収穫始めも平年並の10月1日頃からと見込まれる。

地域によって収穫適期が前後することから、最寄りの農協等の熟度調査結果を参考にする。

山選果に当たっては、変形果や日焼け果、さび果などは、出荷先の基準により選別・出荷する。山選果で取り除いた果実は加工用に仕向ける。

収穫した果実は、高温下に置くと果肉の軟化など品質の劣化が早くなるので、すみやかに冷蔵施設に搬入する。

ア トキ

熟期が揃わないので、「トキの収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して3回程度に分けてすぐりもぎを行う。

1回目の収穫は表面色指数3～5の果実が全体の半量程度に達してから行い、指数4以上の果実を収穫する。2回目以降は指数4に達した果実を速やかに収穫する。指数5以上の果実は、貯蔵中に軟質化する場合があるので即売向けとする。

トキの収穫時の標準指標

表面色	硬度	糖度	ヨード反応	食味
4以上	14～15ポンド	14%以上	1.5以下	4以上（良好）

注) 食味：指数1（未熟）～5（非常に良好）

イ 早生ふじ

収穫時期が早すぎると糖度が低く、食味が劣る。遅すぎると果肉が軟化し、貯蔵力が低下するので、地色を見て2回くらいに分けて収穫する。



▲「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」

【お問い合わせ先】

(公財) 青森県りんご協会
 電話 0172-27-6006

早生ふじの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
14～16ポンド	13%以上	2以下	3.5以上

(2) 中・晩生種の着色手入れ

除袋は、ジョナゴールドで9月25日頃まで、ふじで10月5日頃までに終える。

着色むらをなくし、リンゴコカクモンハマキの食害を防ぐため、外袋をはぐ時は、果実に密着している葉も摘み取る。

日焼けを発生させないため、二重袋の内袋をはぐ時は、曇天か晴天の日中（10時～14時）に行う。

早くからの強い葉摘みは品質低下を招くので行わない。

摘葉剤ジョンカラープロを使用する場合は、ふじのみとし、使用時期は「収穫40～50日前」とする。散布後30日間は収穫できないので注意する。

(3) 樹上選果

ふじ、王林などで着果量の多い樹がまだ見られる。着色手入れや除袋の際に、今一度着果量を点検し、肥大の劣る果実や形の悪い果実、病虫害被害果、さび果等の摘み取りを徹底する。

(4) 病虫害対策

ア 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入するので、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

イ 黒星病

被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

ウ 炭疽病、輪紋病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

エ 果実疫病

収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入しない。収穫した果実は長く野積みをしない。

オ シンクイムシ類対策

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

被害果を流通させないために、収穫した果実は選果時に徹底して選別する。

(5) 風害防止対策

台風の接近や強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(6) ひょう害対策

被害が見られた場合でも、生食での販売が可能な果実については通常どおりの管理を継続する。

(7) 大雨に対する事後対策

水に浸かった果実は区別して収穫する。

(8) 鳥害防止対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。防鳥網の網目は35mm以下とする。

3 一般作業

- (1) 草刈り (2) 徒長枝整理、枝吊り、支柱入れ

4 今後の作業（10月6日～10月21日）

- (1) 中生種の収穫 (2) 晩生種の着色手入れ (3) 樹上選果
(4) 病虫害対策 (5) 風害防止対策 (6) 鳥害防止対策 (7) 野ネズミ対策

《 りんご研究所Web参観デーを開催します！ 》

公開期間中（令和4年9月16日（金）～10月16日（日））にりんご研究所のホームページにアクセスして視聴ください。視聴に当たっての申込等は不要です。

【りんご研究所URL】 <https://www.aomori-itc.or.jp/docs/2022090800023>

《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。

令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを!! 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。
詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

《 農作業安全を心がけましょう 》

機械を使って作業を行う際は、焦らず、急がず、慎重に、を基本に事故のないよう十分注意しましょう。はしごの上で作業する時は、足場がしっかり安定しているか確認するとともに、天板の上には乗らないようにしましょう。園地に出かける際は、携帯電話を必ず持参し、家族などに行き先や帰宅時間を伝えてから出かけるようにしましょう。

農薬はりんご園以外、他の作物、近隣の住宅に飛散させないようにしましょう
園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

次回の発行は令和4年10月5日（水）の予定です。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

連絡先：りんご果樹課生産振興グループ
電話番号：017-722-1111代表
内線5093、5094
017-734-9492直通